

科目名	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（社会福祉士必修）		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2023 年度 前期～後期	単位数	4
担当教員	菊地 恵子		
内容および計画	学習のねらい ①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 ②支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。 ③社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。 ④個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。 クライアントや連携・協働を図る人との間で結ぶ援助関係の形成、その援助関係を土台として、関係者・関係機関とネットワークを構築していく方法、社会資源を活用・開発していく方法、連携・協働におけるカンファレンスの持ち方、関係者との調整の方法、連携・協働を促進する方法等について学びます。		
1	オリエンテーション・総合的かつ包括的な支援の考え方① 授業のオリエンテーション及び総合的かつ包括的な支援の考え方を学びます。		
2	総合的かつ包括的な支援の考え方② 多様化・複雑化した生活課題に対応するために分野や領域の境界線を越えた問題解決の関わり方について学びます。		
3	家族支援の実践① 家族を取り巻く社会の状況、家族が抱える複合的な課題の理解を図ります。		
4	家族支援の実践② 家族に関する基礎理論を理解し、「家族」をアセスメントする方法を学びます。 ソーシャルワーク実践における家族支援で求められる視点について学びます。		
5	地域支援の実践① 地域が抱える課題の把握から解決に至るまでのプロセスを学びます。 地域における多様な団体・組織・機関との協働や連携の具体的方法を学びます。		
6	地域支援の実践② 地域支援を行う専門職として、身につけるべき知識・スキル、基本的な考え方（価値）を理解する。		
7	非常時や災害時支援の実践① 非常時や災害時の生活課題を時系列変化で理解する。 災害時や災害時における支援の目的・留意点を学ぶ。		
8	非常時や災害時支援の実践② 災害ソーシャルワークの実践について事例から学ぶ。		
9	援助関係の形成の意義と概念 人間関係と援助関係の違いを理解し、ソーシャルワークにおける援助関係の重要性と意義を理解する。 ソーシャルワークの定義及び構成要素から見た援助関係の意義及び留意点を理解する。 クライアントシステム及び実践レベルにおける援助関係の意義を理解する。		
10	援助関係の形成方法と留意点 援助関係の形成方法と留意点を理解する。 援助関係の形成におけるコミュニケーションとラポールの意義と方法を理解する。		
11	援助関係の形成 援助関係の形成の実践を学ぶ		
12	ネットワーキング ネットワーキングのプロセスとその留意点について学ぶ。		
13	コネットワークの形成 ネットワークの特性について学ぶ。 我が国の社会福祉政策動向の中でのネットワーキングの位置づけについて学ぶ。		

14	ネットワーキング ネットワーキングの実際を学ぶ
15	コーディネーション コーディネーションの意義と方法について学ぶ。 コーディネートを担う人材養成について学ぶ。 コーディネートによって目指すソーシャルキャピタルについて学ぶ。
16	社会資源の活用・調整 ソーシャルワーク実践における社会資源の位置づけについて学ぶ。 社会資源の種類と内容を学ぶ。社会資源はクライアントのニーズを充足するために活用されるものであることを学ぶ。
17	ソーシャルワーク実践と社会資源 ソーシャルワークの介入方法と社会資源との関係について学ぶ。ジェネラリスト・ソーシャルワークにおける社会資源のとらえ方について学ぶ。
18	ソーシャルワーク実践と社会資源② 社会資源開発の必要性への気づきと、その問題が生まれる背景を理解する方法について学ぶ。
19	社会資源開発のさまざまな方法 社会資源開発のさまざまな方法について学ぶ。社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて学ぶ。
20	カンファレンス 社会福祉士としての業務や実践における会議について学ぶ。会議の計画・準備、会議の中で必要な技能を学ぶ。会議後のフォローアップに必要な技能を学ぶ。
21	ミクロ・メゾ・マクロの会議① ソーシャルワーカーに係わるミクロ・メゾ・マクロレベルの実践における様々な会議について、事例を通じて学ぶ。それぞれの会議の目的に応じた会議を行うにあたり、留意すべきことを学ぶ。
22	ミクロ・メゾ・マクロの会議② 会議の計画・準備・開催・開催後のフォローアップの実際を学ぶ。
23	事例分析 事例分析の目的と意義について理解する。事例分析のポイントについて理解する。
24	事例検討 事例検討の目的と意義について理解する。事例検討会の方法について理解する。
25	事例研究 事例研究の目的と意義について理解する。事例研究の方法について理解する。
26	ネゴシエーション、 交渉の種類・原則を理解する。ネゴシエーションのプロセスを把握する。交渉で必要な要素を学ぶ。
27	コンフリクト・レゾリューション コンフリクトとはどのような状況か学ぶ。コンフリクトの対処について理解する。リスクコミュニケーションの重要性を学ぶ。
28	ファシリテーション ファシリテーションの意義を理解する。ファシリテーションのプロセスを学ぶ。ファシリテーションのスキルを理解する。
29	プレゼンテーション プレゼンテーションに至るプロセスを学ぶ。プレゼンテーションマネジメントを把握する。プレゼンテーションの評価ポイントを理解する。
30	ソーシャル・マーケティング ビジネスからとらえる社会問題の視点を学ぶ。ソーシャル・マーケティングの概念を把握する。ソーシャル・マーケティングのプロセスを理解する。

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『ソーシャルワークの理論と方法（社会専	一般社団法人日本ソ	中央法規	9784805882498	2021

門)』	ーシャルワーク教育 学校連盟編集			
本講義では、ソーシャルワークに関連する理論および方法について学びます。様々な場面で求められる、様々な援助の進め方、 かかわり方の基盤となる専門的援助技術の体系を本講義で学び、ミクロからマクロまでの実践が行える力を共に育みましょう。				
参考書	『ソーシャルワーカーのジリツ』生活書院 2015、『ソーシャルワーカーのソダチ』生活書院 2017、『臨床 ソーシャルワーク』大学図書出版 2015			
成績評価				
評価方法				割合(%)
各回提出の「授業で学んだこと」				30
期末レポート				70
学習到達目標	①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの 様々な理論と方法を説明できる。②支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うた めの、知識と技術について説明できる。③社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発や ソーシャルアクションについて説明できる。④個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見 出すための、事例分析の意義や方法を説明できる。			
先修条件				
実務経験	実務経験あり：病院 MSW、在宅介護支援センターSW、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、地域包括支援 センター社会福祉士等、ソーシャルワーカーとして約 40 年勤務。			
その他				